

2025 年 3 月 10 日

化学工学会エネルギー部会

部会長 松村幸彦 様

日本伝熱学会関西支部 支部長

浅野 等 (神戸大学 教授)

第 18 回関西伝熱セミナー 実行委員長

澤井 徹 (近畿大学 教授)

第 18 回関西伝熱セミナー協賛のお願い

拝啓

貴学会、ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、日本伝熱学会関西支部として、第 18 回関西伝熱セミナー in 和歌山「グリーン
トランスフォーメーションとエネルギー技術」を、2025 年 8 月 29 日 (金) ~30 日 (土)
に休暇村紀州加太 (和歌山市) にて開催いたします。2024 年度開催予定のセミナーが台風で
中止となったことを受けて、2025 年度に延期開催することとなりました。本セミナーでは、
エネルギーおよび環境技術におけるエキスパートの方々を講師にお招きし、話題提供してい
ただきます。今後の GX の展望についての発表と討論が行われる大変有意義な集まりです。
関西だけでなく周辺の地域からも研究者、技術者が集い、1 泊 2 日の合宿形式で熱心な議論
が行われます。

つきましては、貴学会に協賛を賜りたく、お願い申し上げます。

この件につきまして、貴学会のご意向をご回答頂きたく、略儀ながらメールにて失礼いた
します。回答用紙を添付致しますので、ご検討の上、メールまたは FAX にてご返信くださ
いますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 主 催 : 日本伝熱学会関西支部
- 2 事業名 : 第 18 回関西伝熱セミナー in 和歌山
「グリーントランスフォーメーションとエネルギー技術」
<http://www.htsj.or.jp/branch/kansai/seminar2025/>
- 3 日 時 : 2025 年 8 月 29 日 (金) ~30 日 (土)
- 4 会 場 : 休暇村紀州加太 (<https://www.qkamura.or.jp/kada/>)
- 5 同封書類 : (1) 本状
(2) 回答用紙
(3) 第 18 回関西伝熱セミナー in 和歌山 概要
(4) フライヤー
- 6 連絡先 : 〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1
近畿大学理工学部 機械工学科内 第 18 回関西伝熱セミナー 事務局
FAX 06-6727-2024
E-mail : seminar2025@mech.kindai.ac.jp

第18回関西伝熱セミナー in 和歌山「グリーントランスフォーメーションとエネルギー技術」 概要

【日時】 2025年8月29日(金), 30日(土)

【会場】 休暇村紀州加太 (<https://www.qkamura.or.jp/kada/>)
〒640-0102 和歌山県和歌山市深山483
(南海電鉄加太駅から送迎バス10分) TEL: 073-459-0321
送迎バス: 専用バス 11:30-13:00 加太駅発
: 定期バス時刻 <https://www.qkamura.or.jp/kada/access/>

【定員】 60名(先着順)

【HP】 <http://www.htsj.or.jp/branch/kansai/seminar2025/>

【プログラム(案)】

<第1日目: 8月29日(金)>

13:00-13:10 開会あいさつ

13:10-14:10 赤松史光(大阪大学)

<特別講演> 「化石燃料の大量消費と環境問題を解決するための水素エネルギーキャリア戦略
- 工業炉でのアンモニア直接燃焼利用 -」

14:20-15:05 沼口遼平(川崎重工業株式会社)

「川崎重工業における燃焼排ガスおよび大気からのCO₂分離回収技術への取り組み」

15:05-15:50 原田真宏氏(大和ハウス工業株式会社)

「カーボンニュートラル達成に向けた大和ハウスグループのエネルギーマネジメント等に関する取り組み」

16:00-16:45 能村貴宏(北海道大学)

「Power to Heat to Power および Power to Heat の実現に向けた高温蓄熱技術の開発」

16:45-17:30 米野範幸(パナソニック株式会社)

「家電におけるGXの取り組み」

<第2日目: 8月30日(土)>

7:00- 9:00 朝食・チェックアウト

9:00- 9:45 朴 海洋(株式会社神戸製鋼所)

「神戸製鋼グループにおけるカーボンニュートラルに向けた取組について」

9:50-10:35 獅野和幸(信州大学・東レエンジニアリング株式会社)

「リチウムイオン電池のサーキュラーエコノミーとGX」

10:40-11:25 芹澤 毅氏(ダイハツ工業株式会社)

「脱炭素社会を目指すBEV技術を応用したマイクログリッド」

11:30-12:00 閉会あいさつ, 集合写真撮影

【参加費】

- ①一般 30,000円(税込, 意見交換会・宿泊込み)
- ②一般(宿泊なし) 18,000円(税込, 意見交換会・宿泊含まず)
- ③学生 18,000円(税込, 意見交換会・宿泊込み)
- ④学生(宿泊なし) 6,000円(税込, 意見交換会・宿泊含まず)

【申込方法】

表題を「第18回関西伝熱セミナー2025 申込」とし, 下記1-4を記載の上, 電子メールで申込みください。

1. 氏名
2. 所属
3. 参加種別 ①一般 / ②一般(宿泊なし) / ③学生 / ④学生(宿泊なし)
4. 連絡先(電話, メールアドレス)

【申込・問合せ先】

seminar2025@mech.kindai.ac.jp (第18回関西伝熱セミナー事務局)
セミナー委員会幹事: 瀬尾健彦(近畿大学)

【申込締切】 8月5日(火)

【支払方法】

参加申込のメールを受けた後, 振込口座, 振込締切日をメールでお知らせ致しますので, ご入金願います。
参加費は参加取消しの場合でも返金致しません。振込手数料は, 参加者負担でお願い致します。
一部のみ参加となる方は, 事務局にご相談ください。

第18回 関西伝熱セミナー2025 in 和歌山

ーグリーントランスフォーメーションとエネルギー技術ー

2025年8月29日(金)～30日(土)

休暇村紀州加太

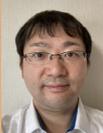
和歌山県和歌山市深山483

<https://www.qkamura.or.jp/kada/>



化石燃料の大量消費と環境問題を解決するための水素エネルギーキャリア戦略 ー工業炉でのアンモニア直接燃焼利用ー

赤松 史光 大阪大学



川崎重工業における燃焼排ガスおよび大気からのCO₂分離回収技術への取り組み

沼口 遼平 川崎重工業株式会社



カーボンニュートラル達成に向けた大和ハウスグループのエネルギーマネジメント等に関する取り組み

原田 真宏 大和ハウス工業株式会社



Power to Heat to Power およびPower to Heatの実現に向けた高温蓄熱技術の開発

能村 貴宏 北海道大学



家電におけるGXの取り組み

米野 範幸 パナソニック株式会社



神戸製鋼グループにおけるカーボンニュートラルに向けた取組について

朴 海洋 株式会社神戸製鋼所



リチウムイオン電池のサーキュラーエコノミーとGX

獅野 和幸
信州大学先鋭材料研究所、東レエンジニアリング株式会社



脱炭素社会を目指すBEV技術を応用したマイクログリッド

芹澤 毅 ダイハツ工業株式会社

主催 日本伝熱学会関西支部

定員 60名 (定員に達しましたら締切ります)

問合せ seminar2025@mech.kindai.ac.jp

第18回関西伝熱セミナー事務局

ホームページ <http://www.htsj.or.jp/branch/kansai/seminar2025/>

化石燃料の大量消費と環境問題を解決するための水素エネルギーキャリア戦略 －工業炉でのアンモニア直接燃焼利用－

大阪大学 赤松史光

私たちが利用しているエネルギーの約9割は、石油、天然ガス、石炭などの化石燃料を燃焼させることによって生み出されています。しかしながら、近年、化石燃料の大量消費により、地球温暖化などの地球規模の環境問題が起こっています。この問題を解決するために、太陽光、太陽熱、風力等の再生可能な自然エネルギーを用いて、化石燃料を代替する水素のバリューチェーンを構築するための研究開発が、大型国家プロジェクトとして推進されています。本発表では、化石燃料の大量消費と環境問題を解決するためのエネルギーキャリア戦略について、研究成果を引用して説明させていただきます。

川崎重工業における燃焼排ガスおよび大気からのCO₂分離回収技術への取り組み

川崎重工業株式会社 沼口 遼平

川崎重工業は、燃焼排ガスや大気を対象に固体吸収材によるCO₂分離回収技術(Kawasaki CO₂ Capture, KCC)を開発している。KCCの特徴は60°C程度の低温排熱を用いてCO₂を回収できる点であり、従来よりも省エネルギーな運用が可能となる。本講演では京都府舞鶴市や米国ワイオミング州で実施中の実証試験やDACの開発状況など、KCC商用化に向けた取り組みを紹介する。

カーボンニュートラル達成に向けた大和ハウスグループのエネルギーマネジメント等に関する取り組み 大和ハウス工業株式会社 原田 真宏

2050年までにカーボンニュートラル達成に向け、自社はもちろんのこと、オーナー様やサプライチェーンとも脱炭素化を推進していくことが非常に大切である。その中で、大和ハウスグループがこれまで進めてきたまちづくりでの実績や住宅や建物に対し行っている新たな取り組みなどについて、エネルギーマネジメント技術を中心に紹介する。

Power to Heat to Power およびPower to Heatの実現に向けた高温蓄熱技術の開発

北海道大学 能村貴宏

変動性再生可能エネルギー大量導入に向けた蓄エネルギー技術の選択肢として、蓄熱技術への期待が高まっています。本講演では、Power to Heat to Power およびPower to Heat型の蓄エネ技術のための高温蓄熱技術、特に潜熱蓄熱技術の開発状況についてご紹介します。

家電におけるGXの取り組み

パナソニック株式会社 米野 範幸

環境問題と資源問題を解決し持続可能な社会実現するために家電業界においてもグリーントランスフォーメーション(GX)の取り組みが行われている。カーボンニュートラルの事例としてエアコンやエコキュート、冷蔵庫等におけるDXと連携した省エネ技術と、サーキュラーエコノミーの事例として家電リファビッシュとIoTを活用したメンテナンスサービスを紹介する。

神戸製鋼グループにおけるカーボンニュートラルに向けた取組について

株式会社神戸製鋼所 朴 海洋

神戸製鋼グループは素材系、機械系、電力を事業の三本柱とした複合経営を展開しており、昨今のカーボンニュートラルの流れにおいては自社工場からのCO₂排出削減のみならず、世の中のCO₂削減貢献に寄与する製品を開発している。本講演では、当社グループにおけるCN関連の取組について紹介する。

リチウムイオン電池のサーキュラーエコノミーとGX

信州大学先鋭材料研究所、東レエンジニアリング株式会社 獅野 和幸

蓄電池の中でもリチウムイオン電池(LIB)は、そのエネルギー密度の高さから多様な分野で応用されている。一方、LIBの原料採掘、製造および廃棄過程などは、依然として化石エネルギーに頼っている。このようなLIB社会実装の側面に鑑み、さまざまな大学・研究機関/企業がその改善に取り組んでいる。本講演では蓄電池技術全般の展望にふれながら、電極製造時の省エネ工法の開発、ならびに電極分離/材料リサイクルなど、各機関のサーキュラーエコノミーによるGX取組みを紹介する。

脱炭素社会を目指すBEV技術を応用したマイクログリッド

ダイハツ工業株式会社 芹澤 毅

再生可能エネルギーを有効に使えるマイクログリッドが注目されている。日本では直流の太陽光発電が主たる発電源で需要は交流が一般的で直交流変換が必要となる。系の効率を高めるにはこれら変換回数の低減が効果がある。BEV技術を応用し変換回数を低減できる直流型マイクログリッドについて事例を含め紹介する。

< 申込等概要 >

開催日時 2025年8月29日(金) 13:00 ~ 30日(土) 11:50

会場・宿泊先 休暇村紀州加太 和歌山県和歌山市深山483 (<https://www.qkamura.or.jp/kada/>)

参加費 一般 30,000 円(税込, 意見交換会・宿泊込み), 一般(宿泊なし) 18,000 円(税込)

学生 18,000 円(税込, 意見交換会・宿泊込み), 学生(宿泊なし) 6,000 円(税込)

支払方法 銀行振込(振込口座をお知らせいたしますので、申込締切日までにご入金下さい。)

申込方法 御氏名, 御所属, 参加種別(一般/学生・宿泊の有/無), 連絡先(電話, メールアドレス) をご記載の上, 下記宛に電子メールでお申し込みください。

申込・問合せ seminar2025@mech.kindai.ac.jp (第18回関西伝熱セミナー事務局)

申込締切 8月5日(火)